



2021年12月14日

各 位

株式会社クシム
代表取締役社長 中川 博貴
(証券コード: 2345) 東証第二部
(お問い合わせ先) 取締役CFO 伊藤 大介
電話 03-6427-7380

特別損失の計上、並びに、2021年10月期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年10月期の連結決算において、特別損失の計上を決議するとともに、本日付「2021年10月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した2021年10月期の連結業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては前期実績値との比較になっております。

記

1. 特別損失の内容

当社が保有する投資有価証券2銘柄につきまして、帳簿価額に比べて実質価額が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損として184百万円を特別損失に計上いたします。

2. 2021年10月期連結業績と前期実績の差異について

(1) 2021年10月期連結業績と前期実績の差異(2020年11月1日~2021年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株あたり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 1,859	百万円 34	百万円 40	百万円 154	円 銭 38.97
当期実績(B)	1,621	△134	△114	△362	△49.72
増減額(B-A)	△237	△169	△154	△517	
増減率(%)	△12.8	-	-	-	

(2) 差異の理由

当社グループは、収益性と成長性を得ることが困難であると判断した理由によりビデオ収録・映像配信事業の廃止を2021年6月30日に実施し、その結果、売上高前年対比はマイナス

となりました。一方、前期は、Eラーニング事業において、収益率の高いEラーニングコンテンツ制作に関する大型案件の獲得実績を有していたのに対して、今期は獲得に至らなかったことや、資金調達及びマーケティングコストの増加が影響し、営業利益および経常利益は前期実績を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期はM&Aによる負ののれん益の発生による特別利益を計上していたのに対し、当期は「1.特別損失の内容」に記載の理由、及び、ビデオ収録・映像配信事業の廃止（2021年3月22日付開示「事業の一部廃止及び特別損失の計上に関するお知らせ」に記載）による特別損失の計上により、上記の通り前期実績を大幅に下回る結果となりました。

以上